

文化スポーツ振興部月次報告

資料7

(単位:人)

報告内容	年度目標値	4月		5月		6月		7月		8月		9月		
		当月値	累計	当月値	累計	当月値	累計	当月値	累計	当月値	累計	当月値	累計	
博物館入館者数	17,000	目標値	1,820	350	2,170	0	2,170	2,310	4,480	2,700	7,180	1,000	8,180	
		本年度	1,782	562	2,344	0	2,344	899	3,203	1,252	4,455			
		前年度	0	0	0	1,610	1,610	1,494	3,104	2,521	5,625	3,981	9,606	
前年度達成値	21,103	10月		11月		12月		1月		2月		3月		
		当月値	累計	当月値	累計	当月値	累計	当月値	累計	当月値	累計	当月値	累計	
		目標値	3,120	11,300	2,640	13,940	0	13,940	210	14,150	1,800	15,950	1,050	17,000
		本年度												
		前年度	2,269	11,875	3,126	15,001	1,491	16,492	1,402	17,894	1,743	19,637	1,466	21,103



◎関連する仕事目標

魅力ある企画展の開催

◎達成度

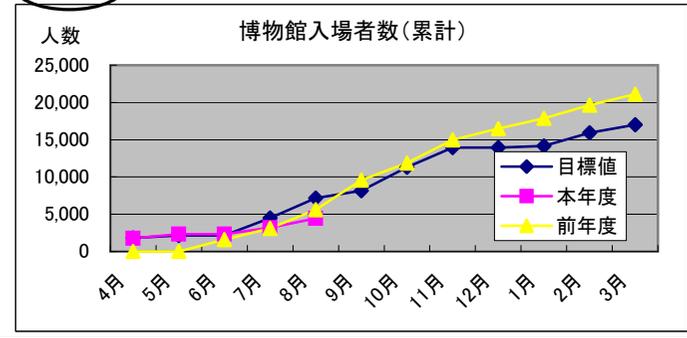
達成度 目標以上 ・ 概ね目標値達成 ・ **目標を達成していない**

1. 博物館の有料化
来館して有料であることを知り観覧しないで帰られたお客様が頻繁に見られたこと、近年開拓して来館者数の約2割を占めていたデイケアサービス等の団体客が8月まで1団体であることなどから、有料化の影響を受けていることは間違いない。(過去3年間の1企画展当たりの平均団体客数が約500人であるのに対して、連展は8月末現在で75名である。)

2. 季節、気候の影響
展覧会は、春・秋のシーズンに比べると、夏・冬は客足が遠のく傾向にある。また、今年は企画展初日以降、猛暑や天候不順が続き、8月も記録的猛暑が続いたことから、その影響はあると考えられる。しかし、過去5年間の8月の1日平均来館者数は109.7人であるが、本展覧会の8月の1日平均来館者数が46.4人で、過去5年間に比べ42.3%まで落ち込んでいることから、季節、気候の影響が主たる要因とは思われない。

3. 企画の問題
本展覧会は、通常の広報のほかに、NHK日曜美術館、MXテレビ、多摩テレビ、TBSラジオ、毎日新聞、武相新聞等メディアでも取り上げられ、積極的なPRを行ってきた。にもかかわらず、来館者数が伸びていないとすると、「蓮」というテーマがあまり興味関心を引かなかったということも考えられる。過去5年間8月に開催した企画展においても1日平均70人から160人と、テーマによって来館者数にバラツキがあった。この点については、次回『ボヘミアン・ガラス』展と比較して分析したい。

◎達成値の推移 [累計・当月値]



◎今後の取組方針

入館者減の主な原因が、有料化によるものなのか、季節的なものなのか、あるいは企画の問題なのか等については、現在の展覧会及び次回展覧会「ボヘミアンガラス」展の入館者状況を注視し、分析をしていきたい。また、時期をみて、来館者向けに有料化に関するアンケートの実施を検討する。展覧会については、引き続き広報等で積極的に企画展の魅力をもPRしていく。

◎該当する財務諸表の勘定科目の動き

(単位:円)

取引内容	財務諸表	勘定科目	期末見込	期首	当月増減額	残高	コメント
建物の減耗	BS	建物	2,780,000	30,580,000	231,666	29,421,670	
博物館観覧料の発生	PL	使用料及手数料	2,736,000		266,000	406,000	
図録販売代の発生	PL	財産収入	770,000		32,150	171,660	
臨時職員賃金の発生	PL	物件費	4,268,000		392,695	1,017,670	
講師等謝礼の発生	PL	補助費等	750,000		260,000	360,000	
人件費の発生	PL	人件費	10,688,880		973,686	6,178,025	
減価償却費の発生	PL	減価償却費	2,780,000		231,666	1,158,330	
その他物件費の発生	PL	物件費	8,527,000		1,852,502	5,832,232	運搬料、有板書換字敷料、企画展開催に伴う委託料、券売機借上料(7月から契約)を合算